



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 三洋貿易株式会社 上場取引所 東
コード番号 3176 URL <https://www.sanyo-trading.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新谷 正伸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理部門担当 (氏名) 大谷 隆一 (TEL) 03-3518-1111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績(2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	33,842	△0.4	1,887	△2.3	2,216	△13.0	2,040	37.9
2025年9月期第1四半期	33,983	2.7	1,931	△16.2	2,547	14.1	1,479	7.7

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 2,297百万円(△11.9%) 2025年9月期第1四半期 2,608百万円(131.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	70.83	70.46
2025年9月期第1四半期	51.39	51.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	83,661	52,782	63.0
2025年9月期	81,496	51,321	62.9

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 52,692百万円 2025年9月期 51,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	28.00	—	29.00	57.00
2026年9月期	—				
2026年9月期(予想)		29.00	—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	△2.0	6,200	△3.6	6,500	△5.5	4,100	△11.2	142.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社 (社名) EMAS SUPPLIES & SERVICES PTE. LTD. 、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年9月期1Q	29,007,708株	2025年9月期	29,007,708株
2026年9月期1Q	197,535株	2025年9月期	197,535株
2026年9月期1Q	28,810,173株	2025年9月期1Q	28,794,673株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来千円単位で記載していましたが、当第 1 四半期連結会計期間及び当第 1 四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第 1 四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの売上高は33,842百万円（前年同四半期比0.4%減）、営業利益は1,887百万円（前年同四半期比2.3%減）、経常利益は2,216百万円（前年同四半期比13.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,040百万円（前年同四半期比37.9%増）となりました。

① ファインケミカル

ゴム関連商品は、一部海外グループ会社の業績不調により売上は減少しましたが、国内向け原材料需要の好調により利益は増加しました。

化学品関連商品は、国内主力商材の需要の弱含み継続により売上は減少しましたが、販売価格見直しの効果により利益は増加しました。

この結果、ファインケミカルの売上高は11,067百万円（前年同四半期比1.8%減）、営業利益は733百万円（同2.6%増）となりました。

② インダストリアル・プロダクツ

モビリティ関連商品は、中国の景気減速の影響を受けて売上は減少しましたが、為替変動の影響やEMAS SUPPLIES & SERVICES PTE. LTD.の全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより利益は増加しました。

北米は、Sanyo Corporation of America、Sun Phoenix Mexico, S.A. de C.V.の利益がともに減少しました。中国は、景気減速と競争激化による日系自動車メーカーの減産により、Sanyo Trading (Shanghai) Co., Ltd.の売上、利益ともに減少しました。アセアンは、一部地域への輸出好調によりSanyo Trading Asia Co., Ltd.（タイ）の売上、利益ともに好調でした。

この結果、インダストリアル・プロダクツの売上高は9,699百万円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益は866百万円（同3.3%増）となりました。

③ サステナビリティ

グリーンテクノロジー関連商品は、飼料加工機器の関連消耗品販売が堅調であったことや、木質バイオマス関連事業における大型案件の進捗により、売上、利益ともに好調でした。

コスモス商事(株)は、海洋開発関連事業の端境期となる影響で海洋調査資機材関連販売が減少、また地熱関連機材販売も減少したことで、売上、利益ともに減少しました。

この結果、サステナビリティの売上高は2,704百万円（前年同四半期比11.5%増）、営業利益は258百万円（同12.8%減）となりました。

④ ライフサイエンス

マテリアルソリューション関連商品は、電材の輸出や輸入ビジネスの基幹商材が伸長し、売上、利益ともに好調でした。

科学機器関連商品は、需要の回復傾向により、売上、利益ともに好調でした。

(株)ワイピーテックが取扱う機能性飼料原料は販売数量増により、売上が好調でした。(株)スクラムが取扱うバイオ関連機器は遺伝子解析関連機器の代理店契約終了の影響で不調でした。

この結果、ライフサイエンスの売上高は10,011百万円（前年同四半期比3.3%減）、営業利益は484百万円（同22.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、商品及び製品の増加により、前連結会計年度末比1,796百万円増加し、71,711百万円となりました。固定資産は、買収によるのれんの増加により、前連結会計年度末比369百万円増加し、11,949百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は83,661百万円（前連結会計年度末比2,165百万円の増加）となりました。

(負債)

流動負債は、短期借入金等の増加により、前連結会計年度末比915百万円増加し、29,021百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債等の減少により、前連結会計年度末比211百万円減少し、1,857百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は30,879百万円（前連結会計年度末比704百万円の増加）となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、当第1四半期連結会計期間末における純資産は52,782百万円（前連結会計年度末比1,461百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期連結業績予想につきましては、2025年11月10日発表の通期予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,896	11,512
受取手形、売掛金及び契約資産	23,679	21,866
電子記録債権	2,730	3,290
商品及び製品	25,990	28,087
仕掛品	124	197
原材料及び貯蔵品	271	311
その他	5,366	6,577
貸倒引当金	△144	△129
流動資産合計	69,915	71,711
固定資産		
有形固定資産	3,464	3,337
無形固定資産		
のれん	685	1,907
その他	622	605
無形固定資産合計	1,307	2,513
投資その他の資産		
投資有価証券	5,352	4,534
その他	1,495	1,593
貸倒引当金	△39	△29
投資その他の資産合計	6,808	6,098
固定資産合計	11,580	11,949
資産合計	81,496	83,661

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,544	13,443
短期借入金	2,910	3,652
1年内返済予定の長期借入金	50	50
未払法人税等	1,540	1,173
契約負債	8,118	8,504
引当金	1,003	288
その他	1,938	1,909
流動負債合計	28,105	29,021
固定負債		
長期借入金	100	100
引当金	42	29
退職給付に係る負債	881	925
その他	1,045	802
固定負債合計	2,068	1,857
負債合計	30,174	30,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006	1,006
資本剰余金	461	461
利益剰余金	45,840	47,045
自己株式	△95	△95
株主資本合計	47,213	48,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,047	1,555
繰延ヘッジ損益	109	79
為替換算調整勘定	1,860	2,638
その他の包括利益累計額合計	4,017	4,273
新株予約権	90	90
非支配株主持分	0	0
純資産合計	51,321	52,782
負債純資産合計	81,496	83,661

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	33,983	33,842
売上原価	28,191	27,958
売上総利益	5,792	5,883
販売費及び一般管理費	3,860	3,995
営業利益	1,931	1,887
営業外収益		
受取利息	15	13
受取配当金	46	45
為替差益	551	306
その他	57	13
営業外収益合計	670	378
営業外費用		
支払利息	21	20
その他	32	29
営業外費用合計	54	50
経常利益	2,547	2,216
特別利益		
投資有価証券売却益	—	939
固定資産売却益	—	74
特別利益合計	—	1,014
税金等調整前四半期純利益	2,547	3,230
法人税等	1,068	1,189
四半期純利益	1,478	2,040
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,479	2,040

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,478	2,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	347	△492
繰延ヘッジ損益	110	△29
為替換算調整勘定	670	778
その他の包括利益合計	1,129	256
四半期包括利益	2,608	2,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,609	2,297
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	101百万円	97百万円
のれんの償却額	89百万円	104百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	ファイン ケミカル	インダスト リアル・ プロダクツ	サステナ ビリティ	ライフ サイエンス	計				
売上高									
外部顧客への売上高	11,266	9,638	2,424	10,351	33,680	303	33,983	—	33,983
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,395	399	84	1,017	2,896	118	3,015	△3,015	—
計	12,661	10,037	2,509	11,368	36,577	421	36,999	△3,015	33,983
セグメント利益又は損失(△)	714	839	297	627	2,479	△128	2,350	△419	1,931

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及び不動産賃貸業等を含んでいます。
2. 調整額は、以下のとおりです。
セグメント利益又は損失の調整額△419百万円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△399百万円、管理会計との為替調整額△49百万円、その他の連結調整額30百万円が含まれています。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	ファイン ケミカル	インダスト リアル・ プロダクツ	サステナ ビリティ	ライフ サイエンス	計				
売上高									
外部顧客への売上高	11,067	9,699	2,704	10,011	33,481	360	33,842	—	33,842
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,311	228	81	692	2,312	108	2,421	△2,421	—
計	12,378	9,927	2,785	10,703	35,794	469	36,263	△2,421	33,842
セグメント利益又は損失(△)	733	866	258	484	2,343	△132	2,210	△323	1,887

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及び不動産賃貸業等を含んでいます。
2. 調整額は、以下のとおりです。
セグメント利益又は損失の調整額△323百万円は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△329百万円及びその他の連結調整額6百万円によるものです。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、EMAS SUPPLIES & SERVICES PTE. LTD. の全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「インダストリアル・プロダクツ」セグメントにおいて、のれん1,217百万円を計上しています。また、連結子会社である(株)ワイピーテックが(株)九州ミタカの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「ライフサイエンス」セグメントにおいて、のれん46百万円を計上しています。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

当社は、2025年10月1日にシンガポール法人 EMAS SUPPLIES & SERVICES PTE LTD (以下EMAS社) の株式を取得し、当社の連結子会社としました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 EMAS SUPPLIES & SERVICES PTE LTD

事業の内容 自動車エアコン関連部品の販売

②企業結合を行う主な理由

当社では、長期経営計画「SANYO VISION 2028」達成に向け、成長戦略として三本の矢「潜在コア事業の果実化」「M&Aの推進」「スタートアップ投資への取り組み」を推進しています。成長投資の対象事業領域の一つとしてモビリティ事業を挙げており、本件はこの戦略に沿ったものです。EMAS社は、自動車アフターマーケット向けに自動車エアコン関連部品を提供するシンガポールの専門商社です。同国において30年超の業歴を有し、高い専門知識と広い仕入ネットワークを強みに、中東及び東南アジアを中心に、世界約50か国以上に製品を供給しています。今回の株式取得により当社は、新車向け内装部材提供を主力としたこれまでのモビリティ事業の事業領域を、自動車保有台数の拡大に伴い成長が見込まれる自動車アフターマーケット市場へと拡大し、バリューチェーンの機能を多角化いたします。また、EMAS社の販売ネットワークの活用によりモビリティ事業の海外横展開を加速させ、「SANYO VISION 2028」の重要施策の一つである連結経営体制の強化を促進いたします。

③企業結合日

2025年10月1日

④企業結合の法的形式

現金を対価とする持分の取得

⑤結合後企業の名称

変更ありません。

⑥取得する議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したためです。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年10月1日から2025年11月30日

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金	18,500千SGD	(2,123百万円)
取得原価	18,500千SGD	(2,123百万円)

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 143百万円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれん金額：1,217百万円

なお、上記金額は当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

②発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力です。

③償却方法及び償却期間

7年間にわたる均等償却